

ニカラグア経済(2011年3月・4月)

2011年5月
在ニカラグア日本国大使館

1. 主な出来事

(1)3月2日、中米経済統合銀行(BCIE)は、ニカラグアのコーヒー生産者、乳業従事者をはじめとする国内農牧業従事者約8,000人を対象とする市場アクセス促進事業に8百万ドルを融資する旨承認した。

(2)3月2日、IMFミッションは当国を訪問した。8日、同ミッションは国会経済委員会と会合を持ち、主にベネズエラからの援助につき意見交換を行った。ガストン・ジェロス同ミッション代表からは公務員給与の引き上げが国家予算外で運用される資金(ベネズエラからの援助)によって行われることが当国経済を歪めるとの見方が示されたが、11日、第6レビュー終了に際し、同代表はニカラグア経済が回復基調にある旨発言、国際農産物価格及び原油価格の高騰に起因するインフレ率上昇に対処しなければならない旨警告するにとどまった。

(3)3月8日、ニカラグア中銀(BCN)は、昨年末時点におけるフリーゾーン内の企業148社の雇用者数が過去最高の8万9,927人を記録したと発表した。フリーゾーンにおける雇用者数は米経済不況等により20社が閉鎖したこと等を受け、2009年5月時点で6万2,766人まで減少していた。

(4)3月14日、米州開銀(IDB)多国間投資基金(FOMIN)は、2010年のラテンアメリカ・カリブ諸国の家族送金に関する報告書を発表した。同報告書によれば、ラテンアメリカ・カリブ諸国出身者が国外から母国に送金した額は前年比100百万ドル増の58,900百万ドルとなった。また、ニカラグアの2010年の家族送金の総額は前年比51百万ドル増の966百万ドルであった。

(5)3月25日～28日、加カルガリーにて第52回IDB年次総会が開催され、ロサレス中銀総裁が出席した。同総会では2015年までに民間部門融資が3兆ドルに拡大されることが決まった。

(6)3月30日、シェブロン(ブランド名テキサコ)は中米諸国のガソリンスタンド174店舗を含む石油製品販売網をビトガス(Vitogaz, S.A.: 仏資本)に売却したと発表した。同月29日にはエクソン・モービルがプーマ・エナジー(スイス資本)への販売網売却を発表、昨年シェルがグルポ・テラ(Grupo Terra: ホンジュラス資本)に売却して中米地域から撤退している。

(7)4月5日、2006年4月1日のDR-Cafta発効5周年を記念する式典がマナグア市で開催され、ソロールサノ商工振興相、アゲリ民間企業最高審議会(COSEP)会長、キャラハン当地米国大使等、関係者が出席した。同式典で、キャラハン大使は過去5年間でニカラグアの対米輸出が71%増加し、Caftaにより大きな成長が得られたと評価した。

《参考》 対米輸出入統計(出所:ニカラグア中央銀行)

輸出(FOB)(注:フリーゾーンからの輸出を含まない)

	DR-Cafta 発効前(2005年)	発効後5年(2010年)
輸出総額	866.0百万ドル	1,851.1百万ドル
対米輸出	289.3百万ドル	566.2百万ドル

輸入(CIF)

	DR-Cafta 発効前(2005年)	発効後5年(2010年)
輸入総額	2,623.2百万ドル	4,173.2百万ドル
米からの輸入	524.4百万ドル	908.6百万ドル

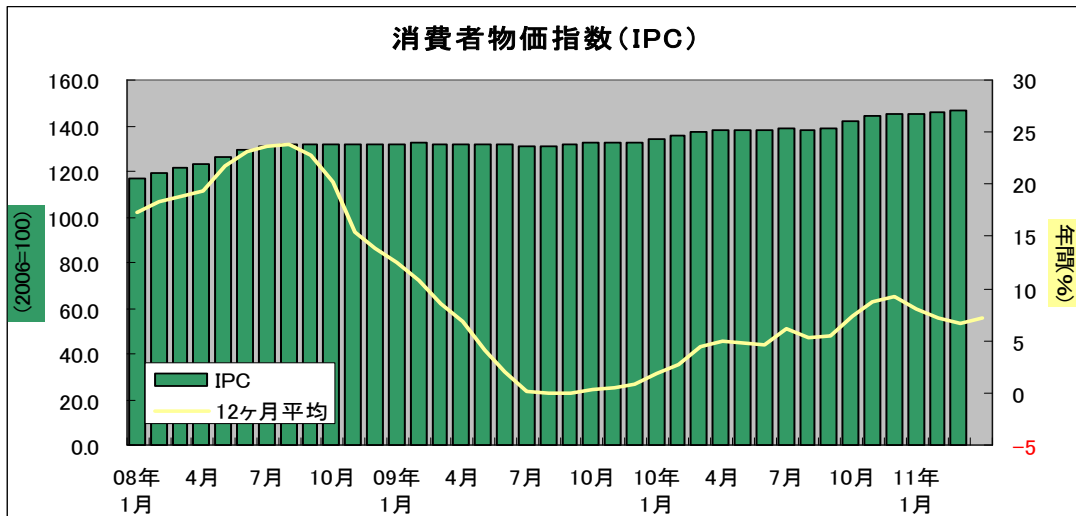
(8)4月6日に発表された中銀の報告によれば、2007年のオルテガ政権発足以降、国家予算外でニカラグアが受け取ったベネズエラからの援助額は1,599.9百万ドルを記録した。昨年のベネズエラからの援助は総額511百万ドルで、うち337百万ドルがペトロカリブ・エネルギー協力協定によるもの、163百万ドルがアルバ農村公庫(ALBA-Caruna)への融資、11百万ドルが外国直接投資となっている。

(9)4月12日、国会は与党 FSLN、立憲自由党(PLC)及びニカラグア統一会派(BUN)の59議員の賛成により、16.6億コルドバ(約74.7百万ドル)の歳入増となる2011年国家予算改正案を承認した。なお、反対は5票、棄権は11票であった(全議員92名)。同改正案承認により、2011年国家予算は歳入総額316.0億コルドバ(約1,424.3百万ドル)、歳出総額369.5億コルドバ(約1,665.6百万ドル)となった。また、同予算は2011年の GDP 成長率3.5%、インフレ率8.6%、年間平均原油価格97.9ドル/バレルとの予測に基づき計上されている。

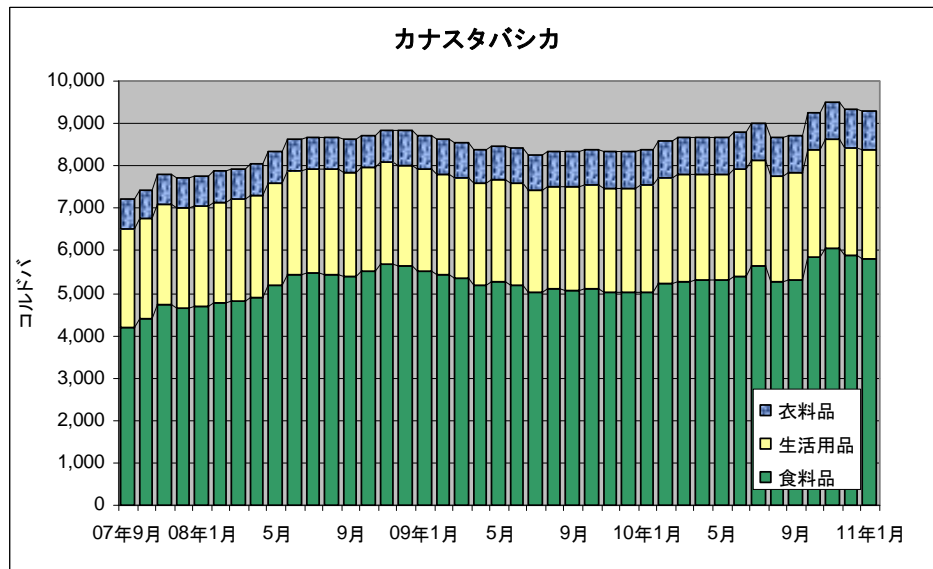
2. 主な経済指標

(1) 消費者物価指数

2011年4月の物価上昇率に関する中銀レポートによれば、同年4月の消費者物価指数(IPC)は0.66%を記録した。これにより2011年4月までの過去12ヶ月の平均物価上昇率は、7.11%となった。



(2) 基礎バスケット

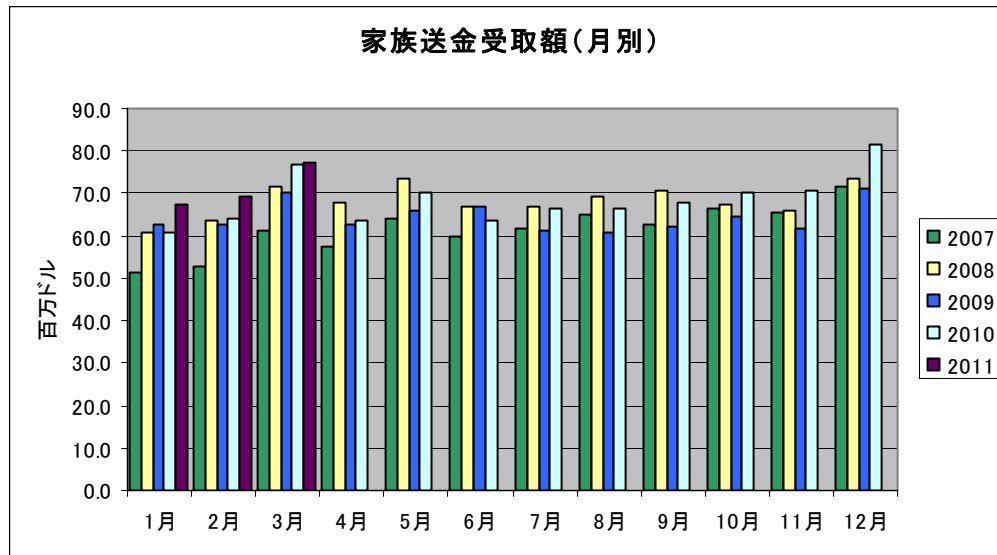


基礎バスケット(Canasta Básica): 1世帯(6名)が最低限の生活を維持するのに必要な1ヶ月の最低限生活必需基礎品目(計53品目、うち食料品23品目、生活用品15品目、衣料品15品目)の総額を、各月の物価に照らし合わせ算出したもの。

2011年2月の基礎バスケットの内訳は、食料品 5,786.71 コルドバ、生活用品 2,588.56 コルドバ、衣料品 925.41 コルドバであった。

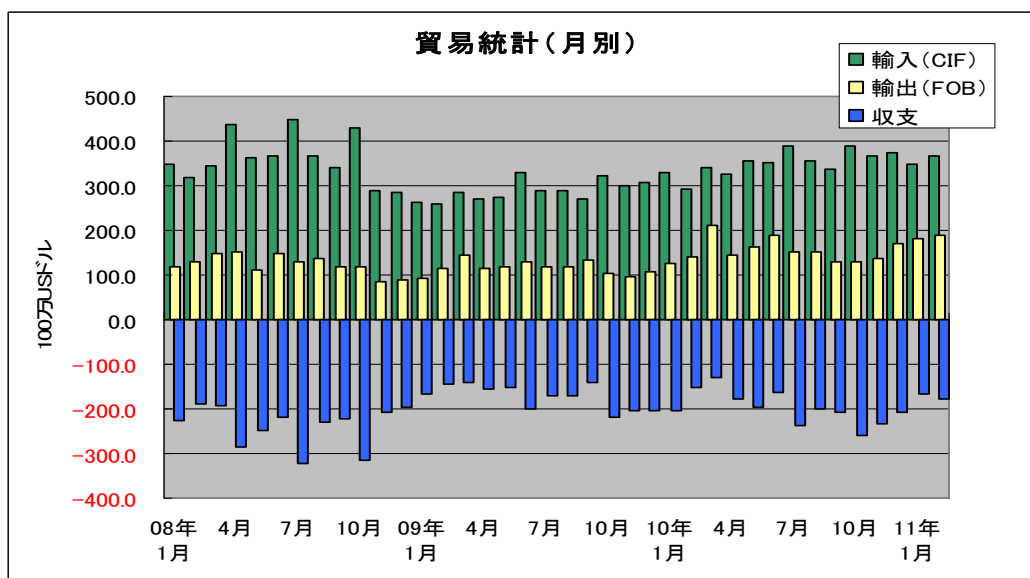
(3) 家族送金

2011年3月の家族送金総額は、前年同月比で0.5百万ドル多い、77.5百万ドルを記録した。



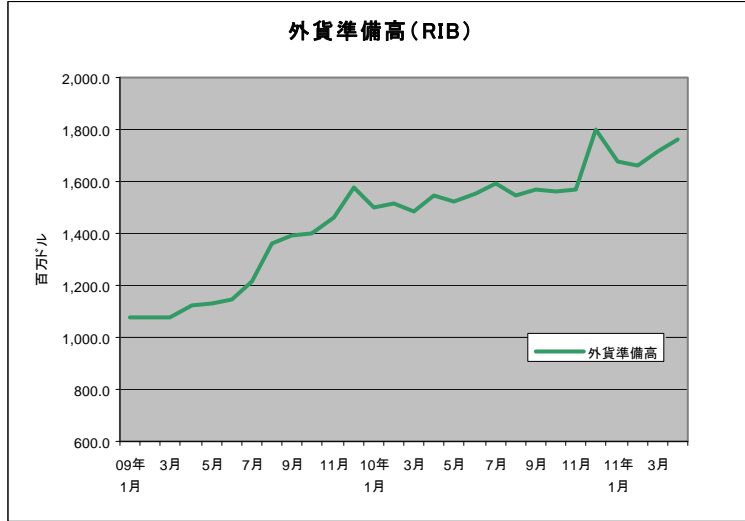
(4) 貿易統計

ニカラグアの2011年2月の輸出総額(FOB)は187.4百万ドル、同輸入総額(CIF)は366.7百万ドルで、179.2百万ドルの貿易赤字を記録した。



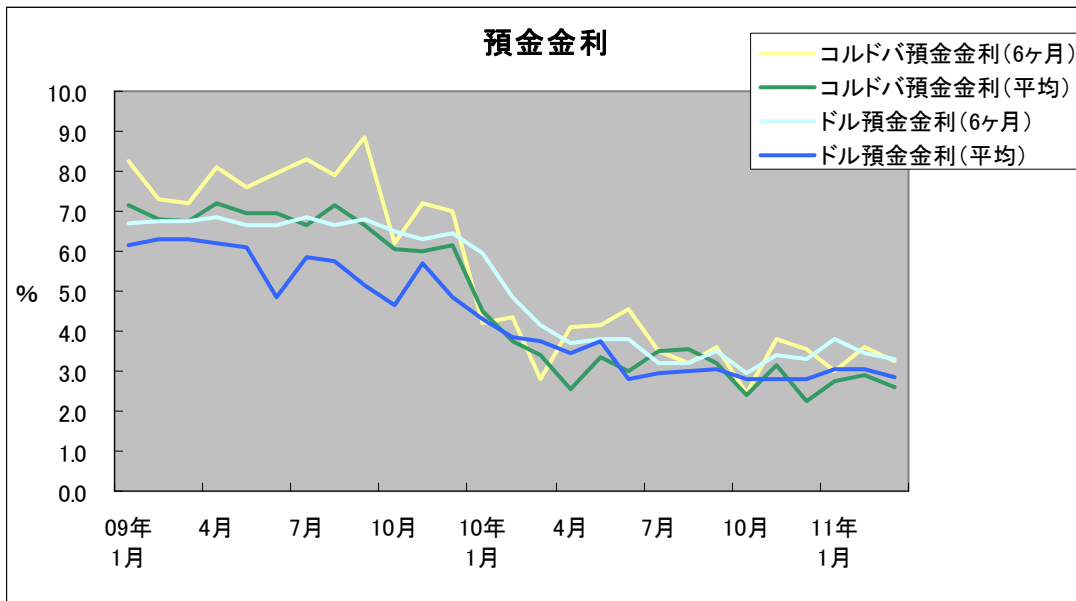
(5) 外貨準備高

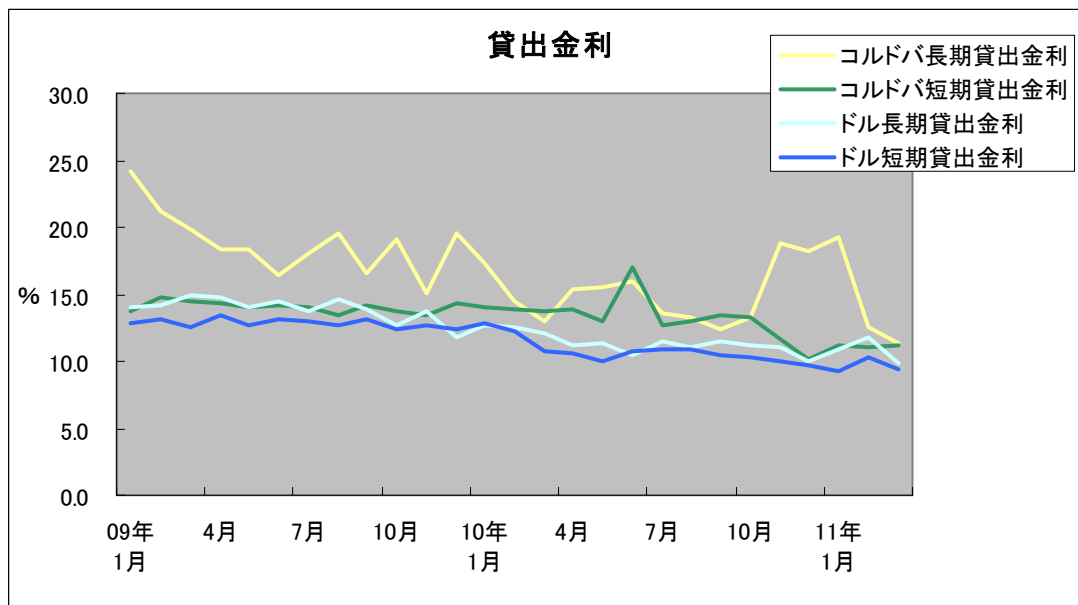
2011年3月の外貨準備高は 1,714.5 百万ドル、同 4 月は 1,761.0 百万ドルであった。



(6) 金利

2011年3月の短期貸出金利(コルドバ)は 11.15%、同長期金利は 11.37%であった。一方、2011年3月の短期貸出金利(ドル)の平均は 9.36%、同長期金利は 9.81%であった。





(7) 対外債務

2011年1月時点の対外債務残高は3,892.7百万ドルであった。また、2010年第4四半期には元金11.9百万ドル、金利8.0百万ドルが支払われた。

(8) マネタリー・ベース

2011年2月時点のマネタリー・ベースは13,592.1百万コルドバ(約616.42百万ドル)であった。

(9) GDP

2010年第4四半期のGDPは40,479.6百万コルドバ(約1,827.7百万ドル)で、前年同期比で3.5%の成長率を記録した。

(10) 失業率

2010年の労働可能人口は394.1万人、うち高齢者、学生、主婦等を除く労働人口は281.2万人であった。また、労働人口のうち、雇用者数は259.2万人、失業者数は22.0万人、同年間失業率は7.8%を記録した。なお、2011年3月時点の社会保険加盟者数は57.0万人、2011年2月時点の中央政府雇用者数は8万5,200人であった。

(11) 為替(対米ドル)

2011年3月末時点の対米ドル公式為替レートは1ドル=22.1474コルドバ、同4月末時点は1ドル=22.2364ドルであった。

(了)